

けやき

令和4年9月1日発行

酷暑とコロナ、保護者の皆様にとっても大変な夏だったことでしょう。
園の正面入り口前に置いたハイビスカス（2年前の季節終わりに安価で求めたもの）
は、次々に真っ赤な花を咲かせて子どもたち（大人も）の心を和ませてくれました。
一部学級閉鎖の際には、御迷惑をかけました。皆様の御協力に感謝です。
このところやっと朝晩が幾分涼しくなりホッと一息ついてます。3才以上児では少しずつ秋の運動会に向けて準備を進めているところです。気象や感染状況を考慮しながら子ども達の安全第一行事を行ってゆきます。



保育園の駐車場に咲いている黄色コスモス、みんなの心を優しく包み込んでくれています。「今日も元気に頑張ろうね」や「先生が待ってるよ。」「また明日ね」など、いろんな思いをコスモスはなげかけてくれているようです。そーっと秋の気配を感じさせ、みんなを楽しませているコスモスです。

畠の大豆、サツマイモ、落花生が大きくなりました。
収穫を楽しみに見守って行きたいと思います。



★夕暮れ時、つぼみの畳の部屋に西日が差し込む。西日にHちゃんが貝付き手をひらひらしながら影遊びを始めた。近くをDくんが通りかかると、Hちゃんが「おいでおいで～」と言うように手招きしていた。すると、D君がニコニコ笑顔で近づき、てを伸ばして遊びだした。「なんだろう！」から遊びへつながっていく素敵な時間だった。（つぼみ組）

★“ピアリンバ”の演奏会での事。めずらしい「マリンバ」と言う楽器の演奏を興味津々で聞いていた子ども達。みんな手拍子をしたりして楽しんでいる中、T君はとても真剣な表情でマリンバのバチさばきを見つめ、両手で真似をする姿が可愛らしかった。普段は触れることのできないものに、触れる経験の良さを改めて感じた演奏会だった。（ばら組）



★音楽会の見学に行った時のこと、静かな雰囲気に心配していると、上手に音楽会に参加するさくらんぼさん。「上手だね」と小さい声で伝えると、Iちゃんが「しーっ」と指を立てて一言。「そうね、静かに聞くお約束だったね」と謝って静かにみた。曲が流れてくると嬉しそうにニコニコで曲の中にひきこまれそうに、みいっていた。（さくらんぼ組）

★部屋のカブトムシにみんな興味を持ち、登降園時に挨拶をしたり、「えさがなくなってる」と教えてくれたりしている。虫かごをひっくり返し、土の手入れをしていると幼虫を発見！！みんなで話し合い、交代で世話をした。Sくんが幼虫を触ろうとすると友だちから「優しくしないと死んじゃうよ」と言われ、触りたい気持ちを我慢できるようになってきた。幼虫の飼育を通して、命の大切さや優しい気持ちを育んでいる瞬間だった。（ゆり組）

